

令和3年度 自己評価書・学校関係者評価書

■ そう思う ■ どちらかといえば、そう思う ■ どちらかといえば、そう思わない ■ そう思わない ■ 無回答

①豊かな心をはぐくむ教育の推進

<h4>1 一人一人の児童生徒の尊重</h4> <p>学校は、一人一人の子どもを大切にしたい指導や対応ができていますか。</p>	<h4>2 友達への思いやり</h4> <p>子どもは、友だちとなかよくしていると思いますか。</p>	<h4>3 道徳・心の教育の充実</h4> <p>学校は、豊かな人間性を育む心の教育の充実に努めていると思いますか。（礼儀、生命尊重、思いやりなど）</p>
--	---	--

今年度も、子どもたちの『笑顔』をキーワードに、安心して学校生活を送って欲しいという願いをもって学校運営を行い、全職員で取り組んできた結果、「友達への思いやり」については【4】の子どもが多く、保護者も【3】【4】の割合が高かった。しかし、「一人一人の児童生徒の尊重」「道徳・心の教育の充実」については、特に保護者の【4】の割合が大きく減った。コロナウイルス感染拡大のため多くの学校行事等が中止又は縮小され、子どもたちの学校での様子を見る機会が減ったことも影響している。今後は、学校での子ども達の生活の様子や学習内容を積極的に発信をしていく。

②確かな学力を育む教育の推進

<h4>4 意欲的な学習態度</h4> <p>子どもは、意欲的に授業に取り組んでいると思いますか。</p>	<h4>5 授業力向上</h4> <p>先生方は、わかる授業、楽しい授業づくりに努めていると思いますか。</p>	<h4>6 タブレット活用</h4> <p>子どもは、タブレット端末を活用して学習していると思いますか。</p>
---	--	--

職員は校内研修での学びを生かし、それぞれに授業改善に努め、日々の授業に工夫を重ねてきた。しかし、コロナ禍において学習活動に様々な制限があったこともあり、教職員・児童・保護者とも【4】の評価が昨年度よりも下がった。また、授業の中でのタブレットを中心としたICT活用も情報化推進チームの職員を中心に進めていったが、児童の学習の様子を保護者には十分に伝えることができなかった。次年度は、引き続き授業改善への取組を継続し、ICTの活用を取り入れた学校での取組の様子を広めていくことにより、保護者に子どもたちの学習へ取り組み意欲への理解図り、連携して学力の充実を目指したい。

③健やかな体を育む教育の推進

7 健康づくり

子どもは、好き嫌いをなく食事をし適度な運動と十分な睡眠に気をつけて生活していると思いますか。

保護者・児童・教職員ともに、昨年度と比べて【4】の評価が下がった。今後も、家庭と連携した生活習慣の取組を進めるとともに、給食週間などを活用した食育の推進にさらに取り組んでいく。

④いじめの不登校などに対する相談支援体制の充実

8 児童生徒理解

先生方は、子どものよさを見つけ、子どもを理解しようとしていると思いますか。

①いじめ不登校などに対する相談支援体制の充実

9 いじめや問題への対応

学校では、いじめや問題があったとき、すぐに話を聞いて対応していると思いますか。

教職員は「児童生徒理解」「いじめや問題への対応」について【4】【3】の割合は100%であるが、児童や保護者の中には【2】【1】の回答があり、昨年度よりもやや増えている。理解してもらえない、対応してもらえないと感じている児童・保護者がいるという結果を真摯に受け止め、今後、学校の取組を学校だより等で発信することで家庭や地域に伝えていきたい。また、「学校の支援体制」については保護者の【4】の割合が減り、教職員との差が大きくなった。これも、発信の機会が少なくなったことが結果に表れていると考える。あらゆる機会をとおして、本校の特別支援教育について伝えたい。

②特別支援教育の推進

10 学校の支援体制

学校は、支援を必要とする子どもの教育について、共通理解を図りながら取り組んでいると思いますか。

11 共生社会を担う人材の育成

「交流及び共同学習」等の実施は、相互理解の促進につながっていると思いますか。

①子どもたちの身近な安全対策の充実

12 安全と事故防止

学校は、子どもの事故防止などの安全教育に取り組んでいると思いますか。

地震避難訓練や火災避難訓練、不審者対策訓練の実施、保護者や地域の協力による交通指導により、安全対策の充実を図った。次年度は、学校の取組を積極的に情報発信していく必要がある。

②最適な学習環境の整備

13 施設・設備の安全管理

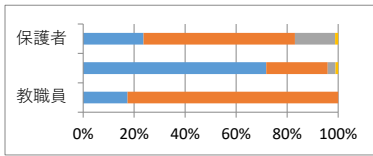
学校の施設・設備は、安全でよく整備・管理されていると思いますか。

毎月の安全点検を行い、日々整理整頓を心がけるなど整備・管理している。今後、校舎内の危険箇所を分かりやすくしたり、複数での安全点検に引き続き取り組んでいく。

③家庭・地域社会との連携強化

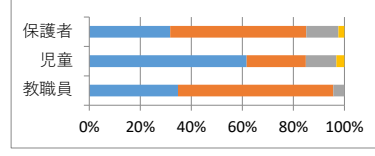
14 教育方針・目標の理解

学校は、教育方針や教育目標などを、子どもや保護者地域にわかりやすく示していると思いますか。



15 家庭や地域との連携協力

学校は、家庭や地域と連携・協力しながら教育活動を進めていると思いますか。

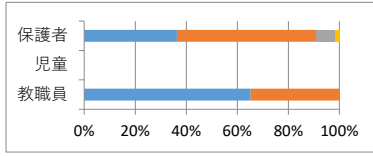


児童の「教育方針・目標の理解」は【4】の割合が増えたものの、保護者は【4】の割合が大きく下がった。これは、コロナ禍で多くのPTA行事が実施できず、地域と連携した活動もほとんど行われなかったことが大きく影響していると思われる。コロナ禍においても、教育方針や学校教育目標を共有し、家庭や地域と連携できる方法を模索し、協力体制の強化を図っていく。

⑧本校の教育

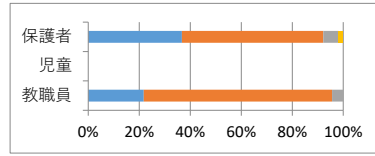
16 1

学校は、子どもたちが安心して過ごせる学校になるように取り組んでいると思いますか。



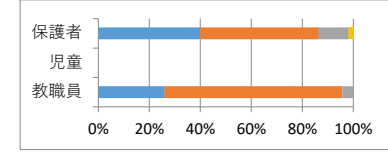
17 2

全ての授業で、子どもたちが、友達の意見を聴いたり、自分の考えを伝えたりして学び合う時間（場）を設定していると思いますか。



18 3

子どもたちは、進んで運動に親しんでいると思いますか。



コロナ禍の中、3学期の授業参観が中止になるなど保護者が児童の学校での様子を知る機会が少なかった。また、教職員も制限のある学校生活の中で、思うような教育活動ができなかった。そのことが、保護者と教職員の【4】の割合が下がった。しかし、児童の【4】の割合は昨年と変わらず、学び合う場が確保され、運動に親しむことができたことがわかる。これは教職員が厳しい状況の中でも授業を工夫し、研修を重ねてきた結果であると考えられる。次年度も以前のような学校生活に戻ることは難しいと考えられるので、今年度の経験を踏まえてさらに全職員で工夫をし、「安心して過ごせる学校」を目指して取り組んでいく。

来年度の具体的な取り組みについて

- 次年度も、保護者や地域の方に学校に来ていただくことが難しい状況が続くと思われる。学校ホームページや学校だより、学級・学年通信で学校の取組を発信したりして、保護者や地域とつながりを持つような取組を推進していく。
- コロナ禍で感染リスクの高い教育活動に制限がかかることが予想されるが、子どもたちの学びを止めないよう、学校行事の精選や学習指導を工夫していく。
- 子どもが主体的に学びとる授業づくりのために、タブレット端末等のICT機器を効果的に活用した授業改善に取り組む。
- 子どもたちが安心して過ごすことができる学校になるように、日常生活における一人一人の子どもの居場所づくりと活躍の場づくりに取り組み、特別活動の充実を図る。
- 豊かな人間性を育むために、木々に囲まれ恵まれた環境を生かして、花と緑に囲まれた潤いのある環境づくりに努める。
- 不安定な家庭環境の中で生活している子どもが少なくないので、校内の支援体制を整え、家庭や地域、関係機関と連携を取りながら一人一人に応じた支援を行っていく。
- 風水害や地震が発生した事を想定した「引渡し訓練」を実施し、学校・保護者・地域が一体となって取り組むことで、防災に対する意識を高めていきたい。

学校関係者評価

- 子どもたちの挨拶がとてもよい。見かけると声をかけてくれる子どもも多く、交通指導をされている方に対して感謝の言葉を伝える子どももいる。今後もそのような子どもが増えていくことを望んでいる。
- 先生方は子どもたちのよさを見つけて、わかる授業、楽しい授業づくりに努めていることが分かる。コロナ禍の中制限の多い学校生活だが、今後も工夫しながら取り組んでいって欲しい。
- コロナ禍の中、運動会などの学校行事が予定どおり行われてよかった。まだまだ厳しい状況が続くが、今後も感染対策を十分にしながら教育活動を進めていって欲しい。
- ICTを活用した授業についてはたくさんの教室で活用され、一人一人の子どもたちが使いこなしているのを見て驚いている。今後も社会の変化に対応した教育力の向上に努めていって欲しい。